

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24502

学校名：小野幌学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
<b>体力・運動能力 &lt;男子&gt;</b> 《全国平均より上回っている》 反復横跳び、50m走、立ち幅跳び 《全国平均とほぼ同程度であるかやや上回っている》 握力、上体起こし、長座体前屈	《全国平均とほぼ同程度であるかやや下回っている》 ソフトボール投げ 《全国平均より下回っている》 20mシャトルラン	男女共に8項目中6項目で全国平均より上回っている。特に男女ともに立ち幅跳びや反復横跳びなど跳躍系の項目が高いことが分かる。昨年度同様、「縄跳びチャレンジ」の効果が出ているのではないかと考えられる。一方で男女共にソフトボール投げと20m シャトルランが全国平均を下回っているため、投の運動と全身持久力を伸ばすための運動が必要である。  体育や運動への意識で大きな男女差がある。女子の体育や運動に対する意識が低い現状がある。男女共にICTを活用することで、できたり、わかったりすることがあるため、ICTの活用が有効である。今後はICTをどのように活用するのが課題である。
<b>体力・運動能力 &lt;女子&gt;</b> 《全国平均より上回っている》 上体起こし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び 《全国平均とほぼ同程度であるかやや上回っている》 握力、長座体前屈	《全国平均とほぼ同程度であるかやや下回っている》 ソフトボール投げ 《全国平均より下回っている》 20mシャトルラン	
<b>運動・スポーツへの意識、運動習慣</b> 「体育の授業は楽しい」「やや楽しい」と回答する子どもの割合 R7 小野幌小学校：男子96.0% 女子72.3% 全国：男子94.1% 女子88.1%	「体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、できたりわかったりすることがある」「いつもある」「だいたいある」と回答する子どもの割合 R7 小野幌小学校：男子64.9% 女子63.9% 全国：男子62.6% 女子60.2%	

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の高まりが実感できるような「課題探求的な学習」の推進</li> <li>●実技指導研修の実施</li> <li>●ICT(一人一台端末等)を活用した学習活動の充実</li> <li>●全校統一の準備運動の実施</li> <li>●体育の準備運動で縄跳びに継続して取り組み、体力の向上を図る</li> <li>●運動機会、時間の増加(場の設定、用具の充実、指導者の役割分担を明確にするなど)</li> <li>●ゲストティーチャーを活用し、子どもの運動意欲の向上を図る(時期未定)</li> <li>●「マット・跳び箱 WEEK」を実施し、準備時間を短縮することで、運動量の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドッジボールコート、バスケットゴール、サッカーゴール的当ての設置、けんぱゾーンの作成など環境の充実</li> <li>●全校一斉の縄跳びチャレンジの実施・検定曲の活用</li> <li>●児童委員会による体づくりにつながるイベントの企画運営</li> <li>●「マット・跳び箱運動 WEEK」期間中の中休み、昼休みの体育館開放</li> <li>●外遊びの充実のために、各学級へボール、サッカーボール、大縄、ドッジビーの配付</li> <li>●中休みを25分確保し、外遊びの推奨</li> <li>●全員遊びの充実</li> <li>●投の運動に関する取組、場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進</li> <li>●地域とのつながりを大切に、栄養教諭と連携し、「フードリサイクル」や「みどりの活動」など食に関する学習の充実を図る</li> <li>●養護教諭や栄養教諭と連携し健康や命に関する指導を行い、子どもたちの具体的な行動へと繋げる</li> <li>●外部講師(助産師)による命の学習(4年)</li> <li>●子どもが安全に活動することができるための、教職員によるサポート体制の強化</li> </ul>
--------	---	--	---

**家庭・地域との連携・協働**  
 ○ 日常の児童の学習振り返りカード ○ 保健室の来室数や健康診断の結果などをもとに児童の健康面を考察  
 ○ 全国体力・運動能力調査、学校独自の体力調査結果等 ○ 体育の学習状況から見る子どもたちの実態  
 ○ 教職員アンケート(学校評価) ○ 保護者アンケート ○ 児童アンケート ○ 学校関係者評価委員会等